



藤森花子さん
(甲賀町岩室)

野菜づくりが趣味 そして生きがい

甲賀町岩室にある地元で採れた野菜を販売する岩室味菜市。ここでは、岩室地域で野菜の栽培をされている方が持ち寄った新鮮な野菜が販売されています。毎週土曜日に行われる朝市は、各地から地元産野菜を買いに訪れる方で大盛況です。

「野菜は種をまくと芽が出て成長していきます。そんな野菜を世話することがとにかく楽しいです。」と岩室味菜市が始まってから欠かさず野菜を提供されている藤森花子さん。毎週の朝市に向け、連日作業に励まれています。

もともと、野菜づくりが趣味の藤森さん。毎週の作業となると、畑が自宅から離れていることもあり、少々の苦労もあるそうですが、「自分のつくった野菜を、買った方が喜ぶ姿を見ると、こちらまでうれしくなります。忙しい毎日ですがこれがなくなると寂しいです。」と今や藤森さんの生きがいに。

今年は水不足で、生育を心配した時期もあったそうですが、全体的に生育は上々とのこと。特に、大根は藤森さんの自慢とか。

「安くて新鮮でおいしい野菜が買えることが地元野菜市の魅力だと思います。いつまで続けられるかわかりませんが、これからも健康に気をつけ、続けられる限り野菜をつくりたいと思います。そして地元野菜のおいしさをもっと知ってもらい、もっと喜んでもらえればと思います。」と藤森さん。

これからも朝市には、色とりどりの新鮮な野菜が並ぶことでしょう。



▲新鮮な野菜が並ぶ岩室味菜市

力強いメッセージと 温かい歌声響く

～あいの土山まなびのつどい～

あいの土山文化ホールで11月14日、あいの土山まなびのつどいが開催されました。

第1部の「子どもたちの思い」では、土山地域の小中学生からのメッセージと地域からの実践発表が行われ、将来の夢や、甲賀のよいところ、命の大切さなどについて発表。その力強い発表に場内からは大きな拍手が沸き起こりました。

第2部では「ヒューマンライツコンサート」と題し、地元アマチュアミュージシャンのステージとシンガーソングライター森圭一郎さんのコンサートが行われ、場内が心温まる歌声に満たされました。



▲メッセージを発表する小中学生の皆さん

交通事故ゼロを めざして

～交通安全誓いの集い～

交通事故のない安全なまちを願って、甲賀湖南交通安全誓いの集いが11月15日、碧水ホールで開催されました。

同集いは、甲賀湖南交通安全協会等が主催で毎年行われているもので、今年も交通安全撲滅を願う方約300名が参加しました。

この日は、交通安全に対して功績のある方や優良運転者への表彰が行われました。また、交通事故のない安全安心なまちづくりのため、交通安全の誓いを宣言、交通事故撲滅の推進を確認しました。



▲表彰を受ける交通安全功労者の皆さん

今年も文化の秋 あふれる

～地域で支える文化祭～

今年も市内各地域で文化祭が開催されました。文化祭では、地域で活躍される市民の一面を見ることが出来ます。

文化協会主催による作品展や芸術発表、また地域の公民館主催による作品展など、市内一円で様々な文化の秋が見られました。

芸術発表では、小さなお子さんから高齢者の方までが同じ舞台上で披露されるなど、文化を通じて世代を越えての交流がありました。また、作品展では、地域の風景や素材を



▲信楽芸術祭の作品展示会の様子

活かした芸術作品が会場いっぱいに展示されました。

さらなる交流を約束

～トラバースシティ市から来市～

甲賀市が姉妹都市交流を結んでいる、アメリカ合衆国ミシガン州トラバースシティ市から、かつて姉妹都市交流委員会会長を務められていたマイケル・ペイリーさんが来市、中嶋市長を訪問いただきました。

マイケルさんは、1970年当時の土山町と姉妹都市提携を結ぶ時から国際交流に活動され、また甲賀市制発足後も姉妹都市交流委員会の代表として国際交流に尽力されてこられました。

中嶋市長との会談では、当時のい



▲中嶋市長と話をするマイケルさんご夫妻

ろんな思い出を懐かしみながら、今後さらなる交流を約束しました。

たぬきが休日を満喫

「たぬき休むでえ」(DAY)

11月8日は、日ごろ愛想を振りまいている信楽焼のたぬきの頑張りに感謝し、休ませてあげ「たぬきの休日」。この日、たぬきにフレッシュしてもらおうと「たぬき休むでえ」が開催され、たくさんのお客様が行われました。

新宮神社では、第1回全国腹鼓大会が行われ、たぬきになりきった参加者が腹鼓を披露すると会場が笑い声に包まれました。

また、1年ぶりの休日となったたぬきは、べっすり寝たり、お風呂につかったり、ハイキングに出かけたりと休日を楽しみました。



▲たぬきのペイントでサイクリングを楽しむ子ども



▲鶏鳴の滝に紅葉見物に出かけたたぬき一行